

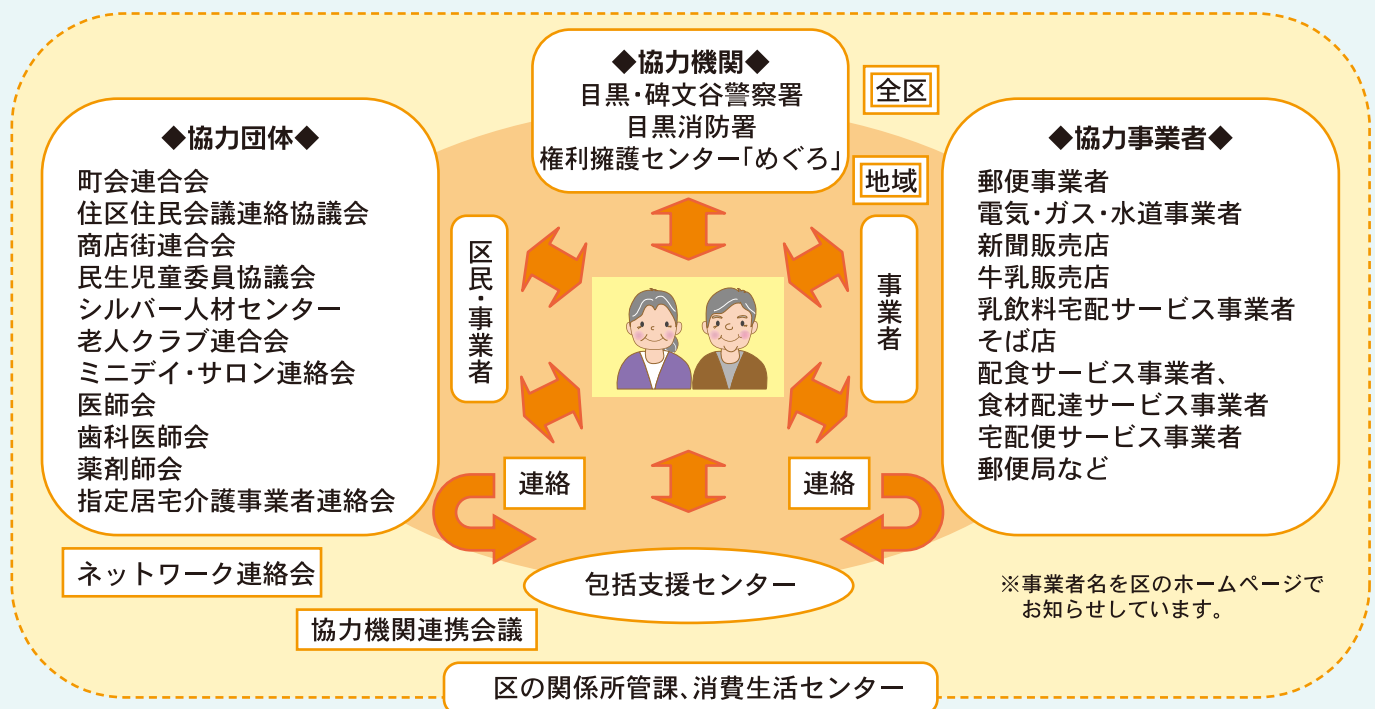
ねっとわーく通信

高齢者見守りネットワーク

「見守りめぐねっと」がスタートしました。

○「見守りめぐねっと」とは

見守る人・見守られる人を特定しないで、地域の皆さんが、日常の生活や仕事の中で、高齢者の「ちょっと気がり」なことに気づいたときに、地域の包括支援センターへご連絡いただくことで、高齢者をゆるやかに見守っていくものです。



○ネットワーク連絡会を開催

見守りを推進するため、協力団体(11団体)、協力機関(4機関)、協力事業者(登録制、2月末現在101事業者)が参加した全区的なネットワークが発足しました。

1月12日に各団体の代表者などによるネットワーク連絡会が開催され、「見守りめぐねっと」がスタートしました。

それぞれの地域では、各地区の包括支援センターが中心となって、顔の見えるネットワークづくりを進めていきます。



ネットワーク連絡会

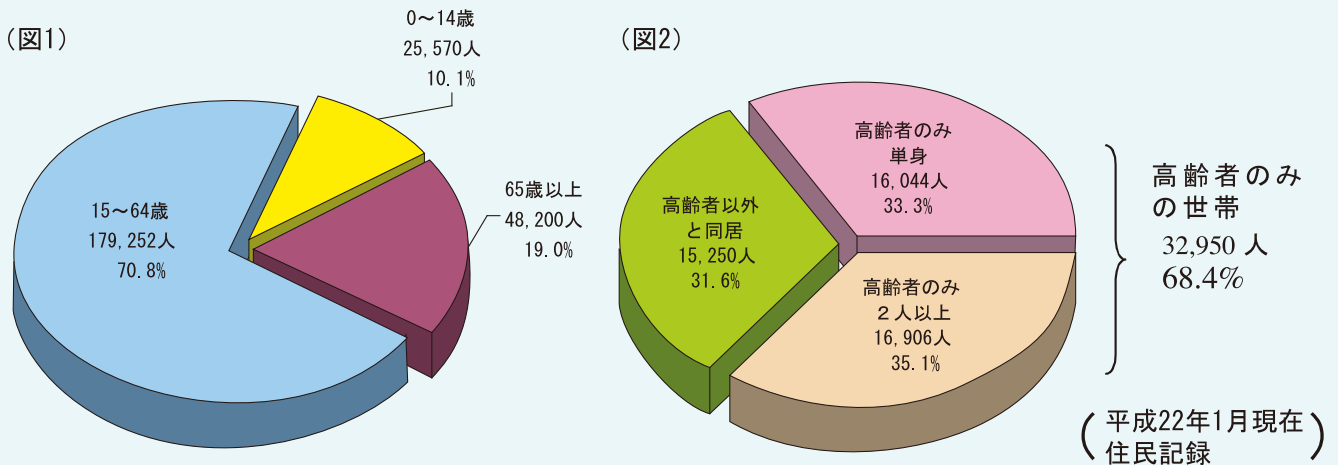
西部地区では、「高齢者見守りモデル事業」も実施

見守りを希望する65歳以上の一人暮らし又は高齢者のみ世帯の方を、地域のボランティアが定期的に訪問する「高齢者見守りモデル事業」を実施しています。西部地区在住の見守りを希望する高齢者と見守りボランティアを随時募集しています。詳細は高齢福祉課へ。(☎5722-9839)

一支え合いの心で、高齢者に安心なまちを

目黒区の高齢者の現状は…

- ・目黒区の65歳以上の人口は48,200人、高齢化率は19.0%で、5人に1人が高齢者です(図1)。10年後には24.5%、4人に1人が高齢者になると推計されています。
- ・住民記録のデータでは、高齢者のうち、高齢者のみの世帯の方が32,950人(68.4%)に上り、そのうち16,044人(33.3%)の方が一人暮らしです(図2)。
- ・平成17年の国勢調査でも、高齢単身世帯が24.9%、高齢夫婦世帯の方が31.4%でした。目黒区では、高齢者の6割程度の方が、高齢者のみで暮らしている状況です。



このような高齢者が安心して生活していくためには、地域で高齢者の異変に気づき、早期に適切な支援につなげていく仕組みが必要です。そのひとつが「見守りめぐねっと」です。

見守りのポイントは…

○認知症の人と家族を支えよう！

- ・認知症高齢者の人数(東京都調査による出現率により推計)

何らかの症状のある人	5,720人(高齢者の12.0%)
うち、見守りや支援の必要な人	4,000人(高齢者の8.4%)

- ・見守りや支援の必要な人の6割近くが自宅で生活しています。1住区あたり100人の方が、地域で暮らしていることになります。

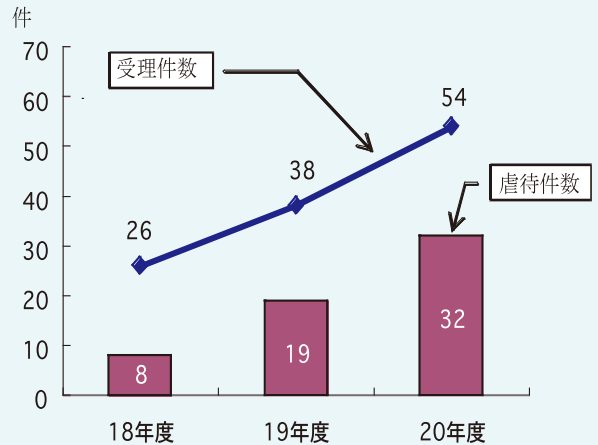


- ・一人暮らしの方が認知症となった場合、気づかれずに生活が困難となり、症状を悪化させてしまう心配があります。「季節に合わない服を着ている」、「服が汚れていて、お風呂に入っている様子がない」など、周囲の気づきが大切です。
- ・認知症の方を介護している家族が、症状に悩んだり、対応で疲れ切っている場合があります。家族だけで抱えこまないよう、周囲の理解や声掛けが必要です。
- ・認知症の行動・心理症状の一つとして、「徘徊(はいかい)」があります。徘徊により家に戻れなくなってしまった高齢者などを、地域の目で発見することが必要です。

- ◇区では、認知症の人と家族を支援する「認知症サポーター」を養成しています。区主催の養成講座のほか、随時、包括支援センターで出前講座を行っています。また、認知症サポーターを対象に、ボランティア活動の支援などを行っています。

○高齢者虐待の早期発見を！

- ・平成20年度の相談・通報受案件数は54件、そのうち虐待と判断した件数は32件でした。高齢者虐待防止法が施行された18年度と比べると、地域での発見が進んだことなどで、大幅に増えています。
- ・虐待種別は、身体的虐待62.5%、心理的虐待50.0%、介護等放棄34.4%、経済的虐待12.5%となっています(複数該当あり)。
- ・年齢では75歳以上が90.6%、性別では女性が75.0%を占めています。
- ・虐待者は、息子50.0%、夫15.6%、妻15.6%、娘6.3%となっています。



- ・高齢者虐待を早期に発見し、深刻化を防ぐことが大切です。「最近、どなり声がよく聞こえる」、「あざや傷があるのに、理由がはっきりしない」など、周囲の気づきが虐待の発見につながります。
- ・高齢者虐待の原因の一つは、介護者の重い介護負担です。介護者が一人で抱え込まないよう声掛けし、包括支援センターへの相談を勧めることも予防につながります。

○消費者被害、振り込め詐欺にご用心！

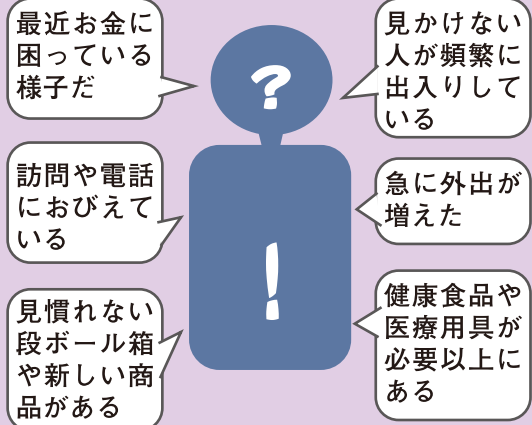
- ・高齢者の消費者被害には、次の特徴があります。
- ◇一人暮らしや昼間高齢者のみの世帯を狙って、悪質業者が入り込み言葉巧みに契約させる。
- ◇悪質業者と一度契約してしまうと、**次々と狙われる**。
- ◇被害にあっても自分では**気づいていない**ことが多い。
- ◇**契約してしまった自分を責めて**、相談をためらう。
- ・迅速な発見・通報が被害回復につながります。

目黒区消費生活センター

- 専門資格を持った消費者相談員による相談
相談専用電話：3711-1140
受付時間(平日)9時半～16時半
- 出張講座(消費者相談員を講師派遣)
5人以上の集まりに、お気軽にご利用ください。
申込み電話：3711-1133

消費者被害「気づき」のポイント

様子がおかしい



⇒気づいたら、さりげなく相談を勧めてください。



・平成21年に区内で発生した振り込め詐欺は22件で、20年の78件と比べ件数は減りましたが、新しい手口によるものなど、被害が続いています。

振り込め詐欺に遭わないために！

- 家族や親戚の合言葉を決めておきましょう。
- ATMの利用限度額を引き下げておきましょう。
- 変だな、と思ったら警察に相談・通報しましょう。

目黒警察署：3710-0110

碑文谷警察署：3794-0110

包括支援センターのご案内 — 所長からひとこと —

22年4月から、土日も窓口を開設します。



田中 美紀子

北部包括支援センター

☎ 5 4 2 8 - 6 8 9 1

地域での連携を第一に考え、どんな相談にも迅速かつ親身に取り組みます。センター内で常に連携を取り、誰が相談を受けても質の高い対応ができる「相談しやすいセンター」を目指し、9人で頑張っています。いつでも、ご相談ください。

目黒区大橋 1-6-2 池尻大橋ビルディング7階

東部包括支援センター

☎ 5 7 2 4 - 8 0 3 0

高齢者のことで「ちょっと気になる、心配だなあ」と感じたら、気軽にご連絡ください。当センターでは、センター独自に「声かけネットワーク講座」の開催や目黒1丁目都営アパートでの出張相談などにも、取り組んでいます。

目黒区上目黒 2-19-15 目黒区総合庁舎2階



宮田 由美子

中央包括支援センター

☎ 5 7 2 4 - 8 0 6 6

「高齢者の方が、いつまでも、安心して暮らし続けられる地域づくり」を目指して取り組んでいます。一人暮らしや介護のことなどでお困りの方がいらっしゃいましたら、当センターまで気軽にご連絡・ご相談ください。

目黒区中央町 2-9-13 食販ビル2階



坂本 勝則

南部包括支援センター

☎ 5 7 2 4 - 8 0 3 3

南部地区にお住まいの約1万人の高齢の方々が、安心してこの地域でずっと暮らしていけるような仕組みを、皆様方と協力し作っていききたいと思います。11人の職員一同、力を合わせてご相談にのっていきますので、よろしく願いいたします。

目黒区碑文谷 1-18-14 碑小学校内南西側



水野 恭子

西部包括支援センター

☎ 5 7 0 1 - 7 2 4 4

「見守りめぐねっと」に加え「見守りモデル事業」につきましても、たくさんの方にご協力頂き、心から感謝しています。皆様とともに安心して暮らせるまちづくりができるよう、医療・福祉・介護の専門職がチームプレーで取り組んでまいります。

目黒区柿の木坂 1-28-10



有吉 泉